

東京大学物性研究所 中性子科学研究施設
「装置責任者グループ提案課題(IRTP)検討委員会」議事録

日 時：平成21年6月22日(月) 13:30~16:30

場 所：物性研究所 第3会議室(東大柏キャンパス)

出席者：柴山委員長、大山、野田、佐藤(正)、金谷、目時、瀬戸、吉信、金道、吉沢、山室、佐藤(卓)
各委員

欠席者：山田委員

○ 審議事項

1. 装置責任者グループ提案課題(IRTP)について
 - ・装置責任者グループマシンタイムの見直しについて
 - ・採択課題の取り扱いについて
 - ・物性研S型課題(IRTP課題)について

配付資料

- | | |
|--|-------|
| 1) 装置責任者グループ提案課題(IRTP)検討委員会委員名簿 | 資料 -1 |
| 2) 平成21年度IRT装置責任者一覧および3号炉中性子散乱装置配置図 | 資料 -2 |
| 3) 平成20年度利用統計 | 資料 -3 |
| 4) 平成21年度共同利用装置別審議結果 | 資料 -4 |
| 5) IRTP提案に対するコメント集(第32回中性子科学研究施設運営委員会議事録) | 資料 -5 |
| 6) 装置維持および研究推進チーム(IRT)プロジェクト課題(案)(平成21年3月) | 資料 -6 |
| 7) 新マシンタイム制度(案)/新マシンタイム運営に関して(案)(平成21年6月) | 資料 -7 |
| 8) 原子力機構3号炉中性子散乱実験装置グループ課題公募・審査制度 | 資料 -8 |
| 9) 東北大学・山田和芳先生よりコメント | 資料 -9 |

1. 装置責任者グループ提案課題(IRTP)について

- ・装置責任者グループ(IRT)マシンタイムの見直しについて
- ・採択課題の取り扱いについて

まず、柴山委員長から資料5,6に基づきIRTP課題新設の背景・目的・意義の説明、続いて資料7に基づきIRT制度の現状の説明があった。これらの資料に基づき、活発な議論をおこない、以下のことが決定された。

IRT課題

(1)IRTのR部分を確保してバッファータイムに流用しない、(2)採択を最大1/6程度多めとし、希望順・先着順に実施し、マシンタイムが埋まらない場合には補欠課題を入れる、(3)年度末に未実施の一般採択課題があっても、IRTの未実施R部分を優先して使用してもよい。この決定にともない、IRT課題の申請、審査、実施、成果報告・公表について以下のように定めることとした。

【申請】

1. IRTは年1回、IRT計画書を申請する。

申請書には、IRTマシンタイムの内訳を明記する。IRTマシンタイムとは、(1)装置維持・高度化(M&D)、(2)研究・人材育成(R)、(3)マシンタイム調整用のバッファータイム(B)などを含む。IRTマシンタイムは全ビームタイムの1/2以下、R部分は全ビームタイムの1/3以下とする。

【審査】

2. IRT 代表者は NSPAC にて IRT マシントイムの内訳を説明し、承認をうける。
(スライド 1～2 枚程度で説明、質疑応答の後、承認を得る)

【実施】

3. IRT はホームページなどを介して、積極的に共同利用の年間予定、進捗状況、などを公表し、採択課題、IRT 課題を実施する。必要に応じて、補欠課題を実施する。
4. IRT は申請時のマシントイムのうち、バッファertimeを除くマシントイム(リサーチタイム)を使用する権利を有する。

【成果報告・公表】

5. 装置ホームページにて成果の公表をおこなう。
6. 年 1 回程度、IRT の成果発表を行う。
(物性研短期研究会などを企画する)

次に、一般課題と補欠課題(従来の課題採択)に対する取り扱いを以下のように改訂した。

【申請】

1. 年一回、課題の申請を受け付ける。

【審査】

2. NSPAC にて審査する。最大、全マシントイムの 1/6 程度の過剰採択を認める。
3. 必要に応じてマシントイムを配分しない課題を採択する。これを補欠課題(従来の課題採択)と呼ぶ。補欠課題に対しては旅費も充当しない。

【実施】

4. IRT はホームページなどを介して、積極的に共同利用の年間予定、進捗状況、などを公表し、採択課題、IRT 課題を実施する。
5. マシントイムに空白が出た場合など、必要に応じて補欠課題を実施する。

【成果報告・公表】

6. 研究終了後、課題代表者は共同利用データベースに成果報告書(実験レポート、出版論文情報、学位論文など)を提出する。

・物性研 S 型課題 (IRTP 課題) について

柴山委員長より資料 8 に基づいてプロジェクト型課題 (KENS S 型課題、物性研 IRT 課題、原子力機構独自枠) の課題審査方法の説明があった。特に、J-PARC/MLF BL12 ビームラインの課題申請に関して、KEK との共同策定共同申請である事、申請は KEK S 型課題受付窓口にて 1 件申請する事、さらに、物性研側で承認する事が確認された。